



## Management

### 新体制

インテックは、2019年6月21日開催の定時株主総会と取締役会において、次のとおり新体制を決定しました。

#### 取締役



取締役会長  
佐藤 知樹



代表取締役社長  
北岡 隆之

取締役 副社長執行役員

**新海 章**

事業戦略推進本部、コンサルティング事業部、生産技術部、社会基盤事業本部担当

取締役 専務執行役員

**岸 善之**

業務改革推進本部、業務管理本部担当  
管理本部長

取締役 副社長執行役員

**平井 克八**

産業事業本部、第二金融ソリューション事業本部、札幌センター、仙台センター、新潟センター担当

取締役 (非常勤)

**安達 雅彦**

TIS株式会社 代表取締役 副社長執行役員

取締役 専務執行役員

**牧野 賢藏**

行政システム事業本部長

取締役 (非常勤)

**柳井 城作**

TIS株式会社 取締役 専務執行役員

#### 監査役

監査役

**野崎 秀和**

監査役

**大滝 義衛**

監査役 (非常勤)

**下平 卓穂**

TIS株式会社 顧問

#### 執行役員

専務執行役員

**林 弘明**

リスク・コンプライアンス室、情報セキュリティ推進室担当  
人事本部長

常務執行役員

**眞門 聡明**

グループ会社管理担当  
企画本部長

執行役員

**泉 肇一**

産業事業本部長

専務執行役員

**中森 行雄**

第一金融ソリューション事業本部、ネットワーク&アウトソーシング事業本部、情報流通基盤サービス事業本部担当

常務執行役員

**佐藤 正修**

流通サービス事業本部長

執行役員

**上田 伸一**

東京総務部長

専務執行役員

**今里 直人**

金融ソリューションサービス事業本部長

常務執行役員

**疋田 秀三**

ネットワーク&アウトソーシング事業本部長

執行役員

**飯沼 正満**

情報流通基盤サービス事業本部長

常務執行役員

**我妻 巧**

北陸産業事業本部長

常務執行役員

**宮下 毅**

プロジェクト監理本部担当  
企画本部副本部長、経営管理部長

執行役員

**五十嵐 陽**

総務部長

常務執行役員

**荒野 高志**

先端技術研究所長

常務執行役員

**谷口 庄一郎**

行政システム事業本部副本部長

執行役員

**山口 浩明**

社会基盤事業本部長

常務執行役員

**小山内 誠**

中部西日本産業事業本部長

執行役員

**三上 雅弘**

業務改革推進本部長

執行役員

**武藤 敦也**

第一金融ソリューション事業本部長

執行役員

**黛 文彦**

事業戦略推進本部長

執行役員

**藤山 等史**

第二金融ソリューション事業本部長

## 2019年3月期決算 売上高、営業、経常、純利益 いずれも過去最高を更新

インテックは、2019年5月13日に2019年3月期の決算発表を行いました。

売上高は1,151億円(前期比0.1%増)、営業利益は80億円(同14.4%増)、経常利益は86億円(同16.5%増)、当期純利益は52億円(同4.2%増)となり、利益についてはいずれも「第18次中期経営計画」初年度の計画を達成するとともに、過去最高となりました。

当期は前期に引き続きクラウドサービス事業の拡大に注力しました。また、金融機関向けCRMシステム「F<sup>3</sup>(エフキューブ)」にAML(アンチ・マネー・ローンダリング)支援機能を追加したほか、製造業向け異常検知システムにAIを活用、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)などの新事業へも進取果敢に取り組んだこと

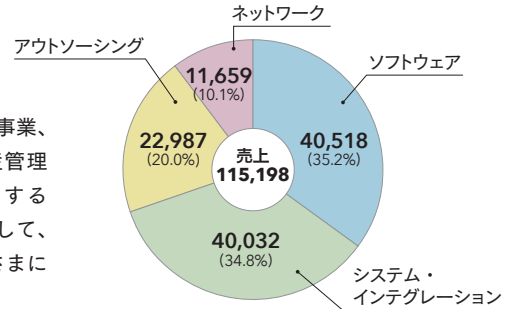
	2018年3月期実績		2019年3月期実績		2020年3月期予想	
売上高	115,040	(△0.3%)	115,198	(0.1%)	116,000	(0.6%)
営業利益	7,071	(3.9%)	8,088	(14.4%)	9,000	(11.2%)
経常利益	7,410	(3.5%)	8,630	(16.5%)	9,400	(8.9%)
当期純利益	4,991	(18.8%)	5,202	(4.2%)	6,475	(24.4%)

(単位：百万円、括弧内は対前期比増減率)

とが、増収増益につながりました。

今期はさらに医療ソリューション事業、公共・自治体事業、製造業向け生産管理パッケージ「mcframe」をはじめとするパッケージ型ビジネスを重点分野として、より付加価値の高いサービスをお客さまに提供してまいります。

● 事業別売上高(2019年3月期)(単位：百万円)



## Products

### 「F<sup>3</sup>(エフキューブ) AML(アンチ・マネー・ローンダリング)共同サービス」、地銀で採用相次ぐ

インテックは、金融機関向けCRMシステム「F<sup>3</sup>(エフキューブ)」に、テロ資金や融資詐欺防止対策を支援する「AML(アンチ・マネー・ローンダリング)共同サービス」を追加し、ふくおかフィナンシャルグループ(福岡市)、広島銀行(広島市)、めぶきフィナンシャルグループの常陽銀行(水戸市)と足利銀行(宇都宮市)で採用が決定しました。

「AML共同サービス」は、今秋に迫るFATF

(金融活動作業部会：マネーローンダリング対策の国際協調のための政府間機関)の対日審査に向けて、疑わしい取引の検知(モニタリング)や、顧客の本人確認及び属性の精査(CDD：Customer Due Diligence)、反社会的勢力チェック(フィルタリング)機能などを提供します。特にCDDにおいては、「F<sup>3</sup>(エフキューブ)」CRMと連携した顧客管理の高度化を実現します。

インテックは、今後も金融機関の課題や

ニーズに迅速に対応するため、サービスを拡充していく予定です。

#### お問い合わせ先

金融ソリューションサービス事業本部  
金融ソリューション事業戦略部  
E-mail: f3\_info@intec.co.jp  
TEL: 045-451-2424

## Products

### 家電を管理するアプリ「家電手帳」を提供開始

インテックは、お手持ちの家電をまとめて管理できるiPhone、iPad用アプリ「家電手帳」を開発し、無料提供を開始しました。

AI技術でWi-Fiに接続している家電をアプリに自動登録できるほか、保証書やレシートの画像からも種類やモデル名を解析し、登録することができます。登録情報は家族間などで共有可能で、セキュリティチェック機能や保証期限の通知機能も備えています。

家電メーカーはこれまで新品を売ることユーザーとの接点を築いてきましたが、近年はオークションサイトやフリマアプリ、家電のレンタルサービスが普及し、メー

カーとユーザーの接点が多様化しています。また、従来の「購入」という取引形態だけでなく、サブスクリプションによる「使用」契約も増加し、契約の管理も複雑化することが予想されます。

インテックは、所有から使用へという「モノを持たない世界」の到来を視野に入れ、ユーザーとサプライヤーの新たな接点として「家電手帳」を継続的にアップデートしていきます。将来、パーソナルデータの流通・活用が進むことを想定し、「家電手帳」ユーザーがアプリに登録した家電情報を、情報銀行の仕組みと連携するためのバージョンアップも予定しています。



#### お問い合わせ先

先端技術研究所  
E-mail: info-ati@intec.co.jp  
TEL: 03-5665-5091

## 「トランポリン日本代表」のオフィシャルトップスポンサーに就任

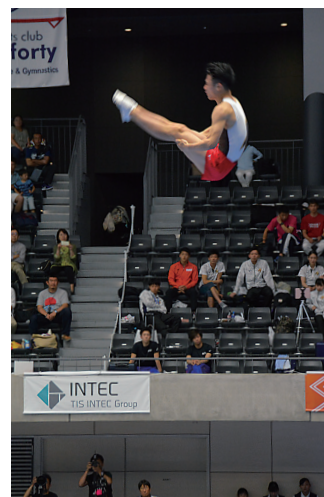
インテックは、「男女トランポリン日本代表」のオフィシャルトップスポンサーに就任しました。

2000年シドニーオリンピックで正式種目になって以来、トランポリン日本代表は連続で入賞しており、2008年北京オリンピックからは3大会連続で4位の成績を残しています。また、2017年の世界選手権では男女ともにメダルを獲得しました。さらに、昨年の世界選手権では、女子の宇山・森ペアが日本トランポリン史上初となる金メダルを獲得しました。

2020年東京オリンピックに向けては、メダル獲得の可能性のある競技をスポーツ

庁が選定・支援するハイパフォーマンス・サポート事業のターゲットスポーツ（夏季）として、ターゲットCに男子トランポリンが選定され、男女ともにオリンピック初のメダル獲得が期待されています。

インテックは、昨年「東京都スポーツ推進企業」に認定され、社員の健康増進だけでなく、社会貢献を目的としたさまざまな活動を行っています。トランポリンは老若男女問わず、跳ぶだけで笑顔になれる親しみやすいスポーツです。インテックは、競技の普及に貢献するとともに、選手の皆さまの活躍を応援していきます。



競技では、演技、技の難度、跳躍時間、着床点の4要素で得点を競います



第34回世界トランポリン選手権大会（2019年11月、東京開催）出場が決まった日本代表12名の選手たち

## 地域の高校生保護者を対象とした会社見学会を開催

インテックは、2019年6月に富山本社で、県立富山商業高等学校の保護者を対象とした会社見学会を開催しました。同校では生徒の約半数が卒業後の進路に就職を選択しており、進路検討や企業研究の一助になればとの思いから開催したものです。

見学会では、会社説明のほかインテックの技術遺産や社内の共用スペースを見学し、同校卒業生社員の体験談を紹介しました。当日は教員を含む31名が参加し、卒業生社員に積極的に質問するなど、お子さんの就職活動に対する関心の高さがうかがえました。

インテックは、今後も教育機関との連携をはじめ、地域に根差した社会貢献活動に取り組んでまいります。



OG社員の体験談に熱心に耳を傾ける保護者のみなさん